

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・33〉 いわき市立高野小学校
＜実施日＞	平成27年 9月 10日(木)
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 2 学級活動 ③ 総合的な学習の時間 4 その他()
＜実践内容＞	○単元名 「放射線と健康について」 ○本時の目標 放射線の正しい知識を身につけ、健康的な生活を送るために心がけなければならないことを考えることができる。 ○授業の流れ (1) 「放射線」や「放射性物質」の意味を知る。 (放射線副読本、県版DVD) (2) 本時のめあて 「放射線から自分を守るためにはどうしたらよいか」 (3) 身の回りには、どんな放射線があるかを調べる。 ・ 植物から、宇宙から、地面から、空気から、食べ物から、エックス線からなど (4) 放射線副読本P12を見ながら、健康な生活のために、どのようなことに心がけたらよいかを考える。 ・ がんなどの病気を起こすいろいろな原因について調べる。 (遺伝、加齢、ウイルス等、生活環境、食習慣、たばこ、紫外線、放射線など) (5) 健康的な生活をおくるために、自分が一番心がけたいことを考えさせる。 (6) 本時のまとめをする。 ・ 病気を起こす要因はいろいろあるが、放射線を受ける量を少なくすることも大事である。
＜成果＞	自然界や食べ物からも1年間で約1.5ミリシーベルトの放射線を受けていることを学習し、放射線について過剰に恐れたり心配したりする必要はないことを知り、安心して生活を送ることができるようになった。併せて、低線量の放射線の健康への影響については、さまざまな考え方があることを副読本の範囲で紹介し、放射線をできるだけ受けたくない生活を送ろうという意識も育てることができた。
＜課題＞	放射線については児童だけでなく、保護者にも正しい知識を伝えていく必要がある。健康被害については科学的な裏付けやデータが少ないということもあるので、保護者の要望も聞きながら家庭を連携したうえで、安全面に十分配慮して学校における諸活動を進めていくことも大切である。
資料作成担当者職(教諭)氏名(笠原典子)	学校電話番号(26-2233)

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)